

令和3年度第3回埼玉県立図書館協議会 議事録

◇ 日 時

令和4年2月14日（金）午後2時30分から4時30分まで

◇ 場 所

オンライン及び会場開催併用（県立久喜図書館、県立熊谷図書館）

◇ 出席者（オ：オンライン、久：県立久喜図書館、熊：県立熊谷図書館）

（1）出席委員

須田俊弥委員（オ）、後藤悦子委員（久）、下村恵久子委員（久）、
文屋芳浩委員（久）、青野正太委員（オ）、小澤嘉昭委員（久）、
神原和子委員（熊）、後藤愛委員（オ）、澁谷知範委員（オ）、
西山富由紀委員（オ）、松本直樹委員（オ）

（2）図書館職員

【熊谷図書館】

高野正晴館長、平野雄三副館長、峰岸まり子副館長、
浮ヶ谷守央担当部長、神原陽子主任司書（以上（熊））

【久喜図書館】

芋川修館長、上松寿明副館長、高橋勉副館長、蓮見博主席司書主幹、
高野治子司書主幹、大島恵津子主任司書（以上（久））

（3）教育局職員

星庸子生涯学習推進課主幹（オ）

◇ 会議次第

1 開会〔熊谷図書館平野副館長〕

2 あいさつ 久喜図書館長 芋川 修

3 会議録署名委員の指名

会長が、宮崎委員と下村委員を指名し、了承された。

4 会議を公開することについての議決

会長を公開とする旨を発言し了承された。

また、本日の会議では傍聴者はいないことが確認された。

5 議事

（1）埼玉県立図書館の障害者サービスについて

資料1 「県立図書館の障害者サービスについて」に基づき説明

【質疑】

委員：大変わかりやすい説明で埼玉県図書館が行っている障害者サービスについてよく理解できました。以前、障害者サービスについて埼玉県のことを調べた際に、県立図書館が非常に熱心にやっているということをお聞きしましたが、ある意味全国を引っ張っているというくらいの図書館なのかなと認識しています。

一点は質問で、もう一つは意見です。ウェブ会議システム（オンライン）で対面朗読を行っているということですが、これは関西の方で始まったと思います。私自身は今後も進めていただきたいと思いますが、これが著作権法上の問題があるのかどうかわかりましたら教えていただきたい。

もう一点は、先ほどの話を伺って、県立図書館と利用者が直接つながれる技術的な基盤がかなり整ってきていると思います。対面朗読や点字データもデジタル化されていればネットワークで送ることができることとなります。そうすると逆に従来、間に入っていた市町村の役割が少し変わってくるのかなという気もしました。その辺の役割分担の再整備が必要になるかと、話を聞いて思いました。市町村も委託や指定管理など条件は変わっていると思いますが、利用者を掘り起こすことなどは非常に重要なので、そのあたりの役割分担の再整理などを今後検討されてはいかがかと思いました。これはコメントなので回答は結構です。

会長：初めの質問について、著作権、これは公衆送信権の問題と思いますが、事務局からお願いします。

事務局：著作権法上の問題は、始めるときに担当内で情報収集や相談をして（著作権法第37条第3項の視覚障害者等のための複製等の規定により）大丈夫であると考えていました。

委員：大丈夫なら大変結構であると思います。基礎自治体を含めてもっと広げていけば、利用者にとっては使いやすいサービスだと思うので、（著作権法上の問題を）クリアにさせていただくと基礎自治体の図書館もやり

やすくなり、普及していくのではと思います。

委員：すばらしいと思ったのは、視覚障害者サービスの研修会をオンラインで配信まで併せて行ったということです。県内でもさいたま市まで来られない方もいらっしゃるだろうし、県外の方にも役に立つ情報があると思いますので、ぜひこうした機会があれば配信の活用を続けていただきたいと思います。

二点伺いたいのですが、一つは対面朗読のZoomの利用についてです。利用者の方のリテラシーの問題がどうしても生じてきますが、これについてはどの程度行われていますか。あるいはそこまでがまだできていないのかなどについて教えていただきたい。

もう一つは音訳者の方が現在50名程度いらして、しかも講師ができる優れた方もいらっしゃると思いますが、こうした方を集める際どのような工夫をされているか教えていただきたい。

事務局：対面朗読の利用者のリテラシーですが、対面朗読の利用者に久喜図書館まで来ていただくのは大変なので、ネット環境をお持ちですかとお尋ねしていますが、使えなかったり、ちょっと尻込みすることがあったりして、なかなか実施に結びつきませんでした。ついここ1、2か月ですが、インターネット、Zoomが使えるという方が出てきて、ようやく軌道に乗せられるのかなという状況です。

音訳者を集める工夫ですが、新規の養成をする場合は、やはりある程度活動の時間がとれる方、長くおつきあいいただきたいと思っていますので、年齢的にも比較的若い方が望ましいと思っています。今登録されている方々は前から活動されている方がほとんどです。新規の養成を頻繁に行っているわけではないのですが、また、これから新しく養成を行うときにはそのような点を考えたいと思います。

委員：対面朗読は熊谷と久喜で行われていて、熊谷が少ないのはやはり熊谷の方が、認知度が低いことになるのでしょうか。また、Zoomを使った対面朗読は久喜へ問い合わせを行うことになっており、熊谷で行うこともあるのでしょうか。そうした久喜と熊谷の割合がわかれば教えていただきたい。

事務局：熊谷の方に対面朗読が少ないのはなぜかということですが、たまたま県北部で利用されたい方がいなかったと考えています。前にはもっと利用者がいたと聞いていますが、現在、熊谷では毎週1回、お一人だけが2時間程度利用されています。久喜はお一人だけが3時間利用されています。

また、Zoomは現在久喜だけで行っています。利用者は自宅にいるので熊谷からでも久喜からでも変わりませんが、手配する音訳者はどちらかという県南部寄りの方が多いので、その場合久喜の方が来やすいのかなと思います。県北部の音訳者をお願いすることになった場合には、熊谷図書館がZoomによる対面朗読を実施できる環境を整えられるかを含め、2館で調整して進めていくことになります。

委員：早目に図書館に来て館内を見させていただいたときに、発達障害の方など障害者に対して図書がわかりやすく展示されておりすばらしいと感じました。

会長：ボランティアで子供へのサービスを行っていますが、コロナ禍で子供たちへ生の声を届けることがなかなかできない状態で、特別支援学校などに職員やボランティアの生の声でお話を語る機会をつくっているのでしょうか。

事務局：昨年度から学期に1回ずつになりますが県立騎西特別支援学校へおはなし会に伺っています。今年度は地元の加須市立騎西図書館に御協力をいただき当館だけでなく加須市立図書館からおはなし会を行っていただいております。

会長：そういった機会が増えるといいと思います。録音や機械を通した音だけでなく、やはり生の声がとても大事であると思います。

委員：音訳者の方が53名とすばらしい人数が集まっていると思います。この方々の振り分けにかなり苦労されると思います。また、デイジー資料については、どのような内容のものか、小説などが主なののでしょうか。

事務局：音訳者53人の中では、得意分野がそれぞれありますし、仕事を抱えている方など個々の事情もありますので、この本ならこの方が読め

るかなとか、そういうことで打診しています。デイジーの利用についてはやはり小説が圧倒的に多いです。その他、実用書についても利用があります。

委員：音訳者に関して、県から各市町村図書館へ講師の紹介や派遣を行っていますか。

事務局：市町村からの依頼に関しては、ボランティアに対する研修の講師という専門的なことであれば、当館の音訳者やデイジー編集者を派遣ということではないのですが、紹介を行っています。

(2) 令和4年度～6年度の県立図書館運営の重点目標・重点取組について
資料2「令和4年度～6年度の県立図書館運営の重点目標・重点取組について」に基づき説明

【質疑】

会長：令和4年度から6年度の県立図書館運営の重点目標・重点取組については、まだ途中経過であり、来月にサービス小委員会がありましてもっと詳しく検討していくということです。本日提示したものは決定ではなく、これからまだまだ検討を重ねていくということです。

委員：図書館運営の重点目標・重点取組という紹介がありましたが、運営していくにあたって熊谷図書館にしても久喜図書館にしても建物の古さは否めないと思います。新たな図書館を展望するにしても、その他いろいろなことを充実させるにしても、この古い建物でやれることには限度があるのではと思います。今まで何らかの要望をしているのか、また今後どのような形で取り組んでいくと思っているのかお聞かせいただきたい。

事務局：御覧になった方はよくわかると思いますが、熊谷、久喜両館とも約50年、40年が経過してしまっていて建物はかなり老朽化しています。冒頭、館長の挨拶でもございましたが、新しい図書館の検討が今後進んでいきます。図書館の機能などのソフト面に加え、建物をどうするかも含めて、検討が進むものと認識しております。

会長：今後いろいろなことが進んでいくということですね。

委員：基本方針の中で SDGs の推進、また、埼玉版 SDGs の精神の尊重との記載がされています。重点目標や重点取組において、特に SDGs の関わりに相当するものがどれになるのか、また、これから達成目標や指標を作っていくうえで具現化していくということであれば、どういったイメージであるのか、議論されているところがあれば教えていただきたい。(SDGs では) 17 の目標と 169 の達成基準があって、非常に広範にわたるので、前段で説明のあった障害者サービスもその一つかと思いますが、具体的に県立図書館としてどの項目を目標とされているのか、教えてください。

事務局：前回の協議会でも松本副会長から御意見をいただきました。重点取組の下に、具体的な取組内容を反映させていきたいと思っています。ICT などもそうですし、かなりいろいろな部分で関係してくるものですので、具体的には小委員会の中でも御議論をいただくことと考えております。

会長：また来月には小委員会もございますので、次の協議会で具体的なものを御報告できると思います。

(2) その他

「図書館と県民のつどい埼玉 2021」の実施結果について

資料3 「『図書館と県民のつどい埼玉 2021』実施について」に基づき説明

【質疑】

委員：事後に視聴させていただきました。とても楽しめましたので、ぜひ継続してもらいたいです。鈴木まもるさんの講演会、4歳の子供がおりますので、以前から電車の絵本などを(県立)久喜図書館からも取り寄せたりしておりましたが、鳥の巣の本があることは知らなかったもので、さっそく借りて、家族でも楽しむことができました。伊吹さんの講演も、とても明るい感じで、今後(伊吹さんの)本を手にとってみたいと思います。

いました。高校の図書館の数字で見るデータとか、司書の方の裏話のような情報も Web 展示でありましたので、そうした情報発信はとても興味深く、よりいろいろな世代の人、子ども、障害者など多様な世代が集えるようなイベントであれば SDGs にもつながると思いますので、さらなる発展を期待しています。（図書館の職員が）手作りでやっているという話も伺って、そういうところも素晴らしい取り組みかと思いますので、今後も期待させていただきます。

以上